

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成しましたので報告します。

## 全 員 協 議 会 記 録

開催日：平成27年8月12日（水）  
 開催時間：10時00分～11時44分  
 開催場所：全員協議会室

### 〔出席議員〕

原田議長、澁谷副議長  
 足立議員、岡野議員、柳楽議員、串崎議員、小川議員、森谷議員、野藤議員  
 上野議員、飛野議員、笹田議員、布施議員、岡本議員、芦谷議員、佐々木議員  
 道下議員、田畑議員、平石議員、西田議員、西村議員、江角議員  
 牛尾博美議員、牛尾昭議員

### 〔執行部出席〕

市 長、副市長、教育長、金城自治区長、旭自治区長、弥栄自治区長、三隅自治区長  
 総務部長、地域政策部長、財務部長、健康福祉部長、市民生活部長、産業経済部長  
 都市建設部長、金城支所長、旭支所長、弥栄支所長、三隅支所長  
 教育部長、消防長、上下水道部長（広域行政組合事務局長）

### 〔事務局出席〕 局長、次長、議事係長、庶務係長

（報道）NHK、山陰中央新報社、中国新聞

## 議 題

### 1 執行部報告事項

- (1) 浜田市有料駐車場の使用料改定後の利用状況について
- (2) 平成27年国勢調査の実施について
- (3) マイナンバー制度（社会保障・税番号制度）の概要
- (4) 市町村建設計画（新市まちづくり計画）の変更について
- (5) シングルペアレント受入事業の見学・面談会の実施状況について
- (6) 婚活イベントの開催状況について
- (7) まちづくり総合交付金について
- (8) 平成26年度まちづくり総合交付金活用事例集
- (9) 平成26年度健全化判断比率・資金不足比率（速報値）について
- (10) 所得に対する「税と社会保険料の負担額合計」の割合について
- (11) 住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度の実施について
- (12) 第1回浜田漁港高度衛生管理検討協議会の開催について
- (13) 平成27年度ブータン王国との交流事業について
- (14) 浜田市フットサルやさか競技場に愛称制定
- (15) ユネスコ無形文化遺産「和紙：日本の手漉和紙技術」認定書伝達式について
- (16) 水道料金改定に係る激変緩和策の変更（案）について
- (17) 個別浄化槽設置事業（市町村設置型）終了について
- (18) 温泉水有効活用事業起業者プランコンテストについて
- (19) 旧木田小学校後利用概要について
- (20) その他  
 （配布物）

- ・ コンビニエンスストア納付の利用状況について

- ・ 浜田市ふるさと寄附制度平成27年度寄附受付状況について
- ・ 介護保険制度改正について（平成27年8月1日～）
- ・ 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）について
- ・ 第二みのり保育園（仮称）開設計画について
- ・ 特定外来生物「セアカゴケグモ」の対応について
- ・ 萩・石見空港の利用状況について
- ・ 浜田市プレミアム付共通商品券の応募状況について
- ・ ブランディング実践事業について
- ・ 山口県及び島根県沖合における試掘調査の実施について
- ・ 浜田市と株式会社ポプラとの包括連携に関する調印式について
- ・ 浜田からの贈りもの情報誌「はまおく」の発行について
- ・ 漁業別水揚げについて
- ・ 平成27年度運動会及び学習発表会等日程表
- ・ ～土曜学習支援～ マナビィはまだ
- ・ 浜田市成人式の開催について
- ・ 平成28年度全国高等学校総合体育大会 浜田市実行委員会発足について
- ・ 指定管理施設の決算状況について
- ・ 公益財団法人ふるさと弥栄振興公社の運営状況について
- ・ リハビリテーションカレッジ島根の入学生確保対策補助金の交付(案) について
- ・ ゆうひパーク三隅の運営状況について

## 2 その他

- (1) 平成26年度行政監査結果報告書（審議会等の運営状況について）
- (2) 平成26年度定期監査報告書
- (3) 地域井戸端会について（田畑議会広報広聴委員長）

【詳細は会議録のとおり】

1. 執行部報告事項

(1) 浜田市有料駐車場の使用料改定後の利用状況について

(2) 平成27年国勢調査の実施について

(3) マイナンバー制度（社会保障・税番号制度）の概要

原田議長  
総務部長  
原田議長  
岡本議員

この3件について、総務部長。

（以下、資料をもとに説明）

この件について議員から質問は。岡本議員。

(3)についてお聞きしたい。先ほどの説明の中で個人番号カードということで、写真を添付して出すようにとの話だった。パスポートを見て分かるようにパスポートは期間が設定されており、写真が本人であるかどうか確認出来るが、マイナンバーの写真は今現在から30年40年後もこの写真で使うのか、期間限定で書き換え等をするのか。

2点目に、これは総務文教での説明であってその場では質問しなかったが、制度面の保護措置としてマイナポータルより情報提供記録の確認という話があった。確認してどこへ。私の理解している状態じゃないものがそこに扱われていた時に、どちらに申し入れするのか。

総務部長

マイナンバーカードの有効期間は、成年者は取得から10年、未成年者は5年となっている。2番目の記録を見たことによってもし間違った記録があった時、それに対する苦情みたいなものか。各機関に対して苦情の申し入れをすることになるのではと思うが、まだ充分その辺の対応を認識していないので、また分かる範囲で調べてお知らせさせていただきたい。

西村議員

2点ほど。先日の総務文教委員会のやり取りを聞いていて、その時に基幹系システムと情報系システムは分離が必要だということで、浜田は分離しているが全国的には分離されていない自治体もあるということと、併せて、この前年金保険機構で情報漏えいの事案があったことを受けてだろうと思うが、国がシステムの現状についてアンケート調査を行ったと昨日の新聞に載っていた。今時そういう状況で果たして1月からのマイナンバーの実質的な運用が、出来る状況にあるのかどうか。浜田市で国レベルの話を読むのもあれだが、現状についてどのような認識をされているのか。

もう1点は、事業者は雇用している人のナンバーを管理する義務が恐らく生じてくる。事業者の負担はどうなるのか。

総務部長

色々心配される中で本当に大丈夫なのかという質問だと思う。議員の仰るように年金機構の情報漏えいの問題は、いわゆる浜田市の情報系の物と同じシステムを使っていたために情報漏えいしたと聞いている。昨日、行政との連絡会議があったがその中で、浜田市の社会保険事務所からもそのような意見を伺った。

浜田市では基幹系と情報系のシステムを分離しているので、現状ではこのような心配はないものと思っている。全国的なアンケート結果については充分把握していないが、今国は来年1月のスタートに向けて粛々と手続きされると伺っているし、先般総務大臣もこれに向けた住民周知も

段々進めていくと考えているという発言があったので、今の所は来年1月スタートということで実施されるものと認識している。

それから事業費の負担について。先ほどご説明したように社会保険等の手続きについて、個人番号の利用が間違いなく必要になってくる。その場合は恐らく従業員の方から扶養家族等の方の番号も含めて聞き取りあるいは提出された上で、手続きの所で利用されるんじゃないかと思っている。どの程度の負担になるかは従業員数や従業員の方が自分の番号をどのくらい把握されているのかで違って来るだろうし、明らかに個人番号通知カードによって、こういう番号が来たから自分の番号はこういう番号ですよというように、はっきり即座に答えられる手続きが出来れば、負担にはならないのではないかと思っている。

原田議長

その他に。

( 「なし」という声あり )

原田議長

無いようなので、この件については終了する。

#### (4) 市町村建設計画(新市まちづくり計画)の変更について

#### (5) シングルペアレント受入事業の見学・面談会の実施状況について

#### (6) 婚活イベントの開催状況について

#### (7) まちづくり総合交付金について

#### (8) 平成26年度まちづくり総合交付金活用事例集

原田議長

この5件について、地域政策部長。

地域政策部長

( 以下、資料をもとに説明 )

原田議長

説明が終わった。(4)は9月議会に上程されるため事前審査になるといけないので、置いておきたい。その他の項目について質問は。

足立議員

(5)についてだが、受入先施設名は公表されていなかった気がする。そろそろ受入確定だろうと思うので、施設の公表をお願い出来ないか。

地域政策部長

当初7施設あったが、実際6施設が受入したいとのことで、お一人の方は複数施設が対象になっており、それがまだ決まっていないため、今しばらくお待ちいただいて9月議会には改めてご報告したい。

原田議長

他に。飛野議員。

飛野議員

(6)について。婚活という活字が取り上げられた新しい部署が出来た。すごく活発に活動されていると思っている。県内でも先進的な形に近づいている。3つのイベントを立て続けに行われて、マッチング数も素晴らしい数字が出ている。余程企画立案運営が良かったのだと思う。その中で少し訊きたいのは、どうしてもこういうイベントでは女性参加者が少ない。考えていかないとこの事業を続けるのは難しいと思う。また、マッチングしてそれで終わりではなく、定住に繋げる、人口問題云々の中でマッチングした部分をどのようにフォローしていくか、お考えがあれば伺いたい。

地域政策部長

女性の参加数がなかなか予定どおりに集まらないのが現状である。男性の方はある程度集まるのだが、今回ご説明したお見合いパーティーは7名7名が参加された。これは当初5名5名を予定していたが、予定よりもたくさんお申し込みがあった。この時に参加された女性のご意見で、他の方と顔を合わせて集団でやるのは非常に抵抗感があるということだった。このお見合いパーティーは女性が7つの部屋にそれぞれ入っていただいて、

男性が回っていくやり方をして、非常に好評だった。アンケートも色々やっているの、女性の方が参加しやすいような仕掛けも必要ではないかと思う。9月にはお見合い方式パーティーをまたやってみたい。女性の意見を参考にしながら進めていきたい。

マッチング後の対応だが、後はお任せということではないと思うので、フォローが出来るよう、例えばまた出会っていただくための仕掛けをすとか、お食事券を渡して一緒にまたどこかへ行っていただくとかも、担当の方が考えている。是非、成功に至るような仕組みを考えていきたい。

原田議長  
足立議員

その他に。足立議員。

(7)についてだが、一般質問でも多くの議員が質問されている中で、多分部長の答弁の中で私の記憶間違いでなければ、やる気のある委員会等には同等の数字もしくは増額も含めてという、含みのあるようなご答弁があったと思う。色んなまちづくり委員会で出ている話が、来年度以降の数字がはっきりしない中で今年度の事業をやったところで、来年度に繋がるかどうか。資金が担保されない中では取り組みにくいという声も聞いている。そうした中で、先ほどの裏面のお金の考え方、ここに例えば前年度の事業をやった部分についてだとか、これを見ると入っていないような気がする。その辺りのお考えを伺いたい。

地域政策部長

私の説明漏れで申し訳ない。裏面の上の表は現在の積算の根拠を参考に付けさせていただいた。これは現在のルールで、今足立議員からもあったように、どちらかと言うと平等・公平な分配をするルールになっており、これをベースに活動を積極的にやっていただく所の活動報酬みたいなこととか、これまでも言っている防災の取り組みとか、そういうことに配慮した交付が出来ないか。先ほど申したまちづくり総合交付金検討委員会、大学の先生とか各地域協議会に出ていただいたり、まちづくり団体とかも出ていただいて、皆さんのご意見をいただきながら、なるべくメリハリのついた交付金を出していけるようにしたい。なるべく早く結論を出してお示し出来るようにしたい。

原田議長

その他に。

( 「なし」という声あり )

原田議長

無いようなので、この件については終了する。

#### (9) 平成26年度健全化判断比率・資金不足比率(速報値)について

#### (10) 所得に対する「税と社会保険料の負担額合計」の割合について

原田議長

この2件について、財務部長。

財務部長

( 以下、資料をもとに説明 )

原田議長

議員から質問は。

( 「なし」という声あり )

原田議長

無いようなので、この件については終了する。

#### (11) 住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度の実施について

原田議長

この件について、市民生活部長。

市民生活部長

( 以下、資料をもとに説明 )

原田議長

この件について議員から質問は。

原田議長

( 「なし」という声あり )  
無いようなので、この件については終了する。

**(12) 第1回浜田漁港高度衛生管理検討協議会の開催について**

**(13) 平成27年度ブータン王国との交流事業について**

原田議長

この2件について、産業経済部長。

産業経済部長

( 以下、資料をもとに説明 )

原田議長

説明が終わった。議員から質問は。森谷議員。

森谷議員

(13)について。ブータンに技術を教えるのがずっと続いているようだが、向こうで教える人を作ればそれで済む気がする。毎回大きな金をかけて教えに行く、その事業の目的と伝えていうか。指導者を教育するというものの関係をどのように考えているか。毎回大きな金と時間をかけて大変だと思うが。

産業経済部長

仰る意味は充分理解する。現在交流事業を続け、これまで技術者の方、これまでの期間で約十数名派遣されている。また、研修生が十数名来ている。その方々の技術レベルをまず向上させることについてもやっていきたい。現在研修生、こちらから技術者が行った時に向こうで今までの研修生のうち、実際に……こちらから行った時に参加していただいて、国とか産業省とか、交流する中にやっていただいて、実際に向こうで樅、みつまた、ガンピに似ているダフネが豊富にあるので、そういうものをきちんと充分耐えられるような物にしていきたいということで。実際技術もだが、ある程度施設面といった所も課題はあるんだと伺っている。議員のご指摘はもっともなので、向こうでちゃんと技術が伝わってきちんと出来る指導者を育てることについては、取り組みの大きな目的としている。

森谷議員

井戸を掘る方法を教えろとかいうのは、折々よく言われている。これは意義があることだが、浜田市がやるには構えが大きすぎる。国の事業でやるべきだと思う。お金が入っているのは分かるが、職員の人件費はこちら持ちなのだろう。それと、その中で浜田でも石見和紙は高く、皆さんお土産程度にしか買えない。ブータンでそのような高価値の物がどのように貢献しているのかご存知か。

産業経済部長

後段の諮問から、ダフネ、みつまたというのが豊富に自生していると伺っているので、そういったものを活用していきたい。その中で漉いた紙がどの程度のレベルにあるかは私も充分把握していないので、その点のご了承願いたい。それから1点目の件だが、1986年にブータン王国との国交も樹立しているようで、先般は外務省のアジア南部局、そこの担当者の話も伺ったが、来年がブータンとの国交30年とのことで、国としてもきちんと何らかの催し物を1年かけてしたいと仰った。浜田市も1986年から旧三隅町時代から続けており、その交流自体も30周年を迎える節目の時期となっている。浜田市単独では大変重たいのではないかというご意見、私どもも感じているが、外務省、JAICAからもきちんと支援していただくと伺っているので、連携を深めてやっていきたいと思う。

森谷議員

ブータンの大使館は日本には確かない。特別な総領事館はあるが。紙漉きの紙は、私が知る限りではブータンの観光客らのお土産を包むための包装紙に使われているとのことだった。それで、浜田が力を入れるほ

産業経済部長 価値があるのかなという気がする。もう少し、お金と時間を使うなら目的をしっかりと考えた上でやるべきだ。惰性でやらないように。

みつまた、ガンピによく似たダフネ、非常に光沢のある美しい紙が漉けると伺っている。今後そういった物をまた国内で非常に価値があるものとしていきたい。また後段の、先ほど申したように30周年の節目であるので、今年度も技術者の方、学校の先生、美術員も派遣して今後の事業展開について充分協議していきたい。また議員のご指摘も踏まえて検討したい。

原田議長 その他に。

原田議長 ( 「なし」という声あり )

原田議長 無いようなので、この件については終了する。

**(14) 浜田市フットサルやさか競技場に愛称制定**

**(15) ユネスコ無形文化遺産「和紙：日本の手漉和紙技術」認定書伝達式について**

原田議長 この2件について、教育部長。

教育部長 ( 以下、資料をもとに説明 )

原田議長 議員から質問は。

原田議長 ( 「なし」という声あり )

原田議長 無いようなので、この件については終了する。

**(16) 水道料金改定に係る激変緩和策の変更(案)について**

**(17) 個別浄化槽設置事業(市町村設置型)終了について**

原田議長 この件について、上下水道部長。

上下水道部長 ( 以下、資料をもとに説明 )

原田議長 議員から質問は。野藤議員。

野藤議員 (16)について1点だけ。激変緩和ということでお示しいただいたが、激変緩和というのは値上げに対してクッション的な形で、順序立てて上げるのかと思うのだが。金城、旭、弥栄の値下げに対して激変緩和というのは何かおかしい感じがする。トータルで300円、最終的には31年度に下げっていくわけだが、29年度で一気に300円下げるのも考えられるのかなと思うのだが、財政的なものが色々あるのかと思うが、考え方を聞きたい。

上下水道部長 まずこの引き下げを何故段階的にやるのかだが、新しい料金体系の中ではひと月24トンを超えると引き上げになってくる。それぞれひと月あたりの使用水量が月によって違うので、逆に引き上げだけをするという調整が非常に難しかったということがあり、段階的に引き下げる方式を選んだ。

原田議長 一度に下げる方式もあるのではということだが、その点については少しでも料金収入をいただく方がありがたいということで、段階的に下げる方式を考えている。

原田議長 他に。森谷議員。

森谷議員 今の段階だと多分、このままいくと上水道が赤字になる。それをゼロにするためにこの何年間という期間を経て上げていくという認識で良いのか。赤字を減らして黒字にしたいということか。

上下水道部長 今回の激変緩和策は、非常に引き上げ率が大きいということで。それぞれ数字は書いているが、浜田においても39パーセント程度引き上げる

から、それを一度に引き上げると非常に生活に影響を与えるということで、3年間に段階的に上げるというもの。そもそも赤字黒字の話は、赤字になるので今回料金改定を行うということ。なので、激変緩和とはまた別の話。

森谷議員

激変緩和で取りあえず終着点に行っても、まだ赤字なのか。

上下水道部長

今回の水道料金改定については、29年度から5ヶ年間の計画を立てている。29年から33年までは当然黒字になる。

森谷議員

今2億円くらいか。赤字は。

上下水道部長

料金改定を行わなかった場合、平成29年度から2億円以上の赤字になる。

森谷議員

先ほども言うておられたが、少しでも収入を確保したいので値下げも一度にしなくてと言われたし、以前この場で、水が余っているのでどんどん使う所を紹介してくれと言われた。1日3000トンで計算したら年間水道代金にしてざっくり言うと2億円くらいの金額になる。そうすれば値上げについて大分プラスの影響があると思う。そちらについてどのように考えているのか。収益の確保は、余っている水は放置で、営業努力なしに赤字になる部分を負担してもらおうというのは、ちょっとどうかと思うが。

上下水道部長

仰るとおり、余力として1日3000トン程度はあるので特に大口利用を進めたいという話を以前させてもらった。仰るように、仮にそれが有効利用出来れば、2億から3億程度収入が増えるので、当然値上げは避けられる可能性が出てくる。ただ、企業から若干の問合せはあるが、ただちに事業化になる状況までは至ってないので、引き続き大口利用の方と折衝することになるかと思う。

森谷議員

最後にするが、結構市町村で水を売っている所がある。松江も横浜も。だからそちら側で収益を上げることも併せて力を入れて欲しい。

上下水道部長

各市町村でペットボトル販売を行っている所も、全国的には多数ある。ただ、収支でいくと基本的には赤字である。では何故やるのかということだが、飽くまで水道のPR費用と考えておられ、松江市にしても実際は赤字である。浜田市としては赤字になってまでやる考えはない。

原田議長

その他に。牛尾昭議員。

牛尾昭議員

若干重なる部分があるかと思うが、先ほど財務部長から紹介のあった、税と社会保険料の負担額合計、平成17年から27年で随分上がった。今回、簡水と上水の統合でこういうことになっていく。裏面には現在では8市で一番水道料が安いけど3番手になるんだという報告だった。同僚議員から質問があったが、公営企業なので、先ほどのような範囲の部長答弁ではなく、それを越えた営業努力が必要なのではないかと思う。旧浜田自治区に限って言えば4割上がるとのことで、大変な負担額だと思う。だから、ただ「こうせざるを得ないからこうなんだ」ではなく、一般質問ではないからあまり言わないが、例えば金城の華という水が売れている。水源は浜田市が持っている。随分余裕があるという話を聞けば、非常に有力な水源なら浜田市の名前を付けて売っていくというのも一つの考え方だと思う。公営企業だからもう少し努力して稼いでいただいて、赤字になるのではなくて、もっと稼げることが他にあるんじゃないかと。ただやっていけないから値上げしますよだけでは、市民が納得しないと思う。ここ10年のサイクルを考えれば、公共料金で下がった物というのは一つも



ない。上がる一方。だからその辺については、ただこうだからこう、というのではあまりに芸がないと思う。それについては水道部だけでは難しいと思うが、浜田市全体としてこの問題をどうしていくか。ただ、赤だから値上げしますよということだけで、市民が納得するとは僕は思わない。特に浜田自治区については。ご答弁を願う。

上下水道部長

まず1点目の営業努力の問題について。先ほども若干答弁したが、現在問合せの企業もある。水質については全く問題ないということで、ではいかにそれを事業化するのか。場所の問題も含めて検討されているところ。引き続きそれが実現するように努力する。

値上げについて浜田市全体の問題ではないかという件は、仰るとおり。一般家庭においても事業所においても大幅な値上げとなる。特に営業活動をやっている事業所等がどうなるのか非常に心配している。そこは水道部だけでは限界があるので、浜田市全体として産業政策の場面で検討しなければならないと思う。

牛尾昭議員

ここ十年の事例でいくと水産加工団地で、排水料金が上がったということで業者が水を出すのを控えた結果、何が起こったかと言うと、排水処理プラントが壊れた。濃度が上がってプラントがパンクして15億か20億かかった。だから特に水産加工業、鮮魚もそうだが、結構水を使う所が直撃だろう。水揚げ高はどんどん落ちてきているのでダブルパンチだ。現場へ行って聞き取りをされながら、水を大量に使う業者がどれくらい困っているのかを数値として掴んだ上で政策を打たないと、大変だ大変だというだけでは前に進まない。いずれにしても詳しいことは一般質問でやろうと思う。是非、上げるという報告だけでなく、これだけ努力したが結果が出なかったと。先ほど部長が言われるのは、企業はあると。多分事業化されるのではないかというニュアンスがあるが、事業化出来ない理由がどこにあるのか、例えばAという企業がそこへ立地して出来るようになるなら、僕は補助金を突っ込んでもやらせるべきではないかと。そういう努力が見えてこないのが非常に残念だ。

上下水道部長

まだ話が出来る段階ではないのだが、引き続き努力するという事でご了承いただきたい。

原田議長

その他に。

( 「なし」という声あり )

原田議長

無いようなので、この件については終了する。

#### (18) 温泉水有効活用事業起業プランコンテストについて

#### (19) 旧木田小学校後利用概要について

原田議長

この2件について、旭支所長。

旭支所長

( 以下、資料をもとに説明 )

原田議長

説明が終わった。議員から質問は。

( 「なし」という声あり )

原田議長

では、一応提案されている報告事項については以上とする。

#### (20) その他

##### (配布物)

##### ・浜田市合併10周年記念事業の実施について

- ・介護保険制度改正について（平成27年8月1日～）
- ・介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）について
- ・第二みのり保育園（仮称）開設計画について
- ・特定外来生物「セアカゴケグモ」の対応について
- ・萩・石見空港の利用状況について
- ・浜田市プレミアム付共通商品券の応募状況について
- ・ブランディング実践事業について
- ・山口県及び島根県沖合における試掘調査の実施について
- ・浜田市と株式会社ポプラとの包括連携に関する調印式について
- ・浜田からの贈りもの情報誌「はまおく」の発行について
- ・漁業別水揚げについて
- ・平成27年度運動会及び学習発表会等日程表
- ・～土曜学習支援～ マナビィはまだ
- ・浜田市成人式の開催について
- ・平成28年度全国高等学校総合体育大会 浜田市実行委員会発足について
- ・指定管理施設の決算状況について
- ・公益財団法人ふるさと弥栄振興公社の運営状況について
- ・リハビリテーションカレッジ島根の入学生確保対策補助金の交付(案) について
- ・ゆうひパーク三隅の運営状況について

原田議長

配布物は各調査会で確認して本日出しているの、議員の皆にはまたご覧いただきたい。

三浦局長

ここで確認いただきたい。この後、議会側の報告事項が若干ある。ご案内で、総合振興計画の策定の意見交換会を全協後ということで計画しているが、時間が押しており中途半端になるため、議員と執行部の皆にご確認させていただきたいのだが、意見交換会については1時開会ということではよろしいだろうか。

（ 「はい」という声あり ）

三浦局長

では1時開会ということで、ご確認の上よろしく願います。

原田議長

では執行部の方、大変ご苦労さま。

《 執行部退席 》

三浦局長

では議員の皆さま、お手元に26年度行政監査結果報告書と定期監査報告書を配布しているの、またご確認いただけたらと思う。

また、先般の研修会であった議会報告会、井戸端会の関係で議会広報広聴委員長からご報告いただきたい。

田畑委員長

ご報告させていただく。議員の皆さん既にご承知だと思うが、今年度の10月13・14・15日、各公民館において地域井戸端会を開催する。この件については先日ファシリテータの研修を受けた。この報告に基づいて今回実施してみようと思う。お手元に各班長さんへのお願いという文面があるかと思う。資料を見ていただき、先般の研修で言われた、各公民館において大きなタイトルは付けているが、例えば今福公民館におけるタイトルは「地域農業と観光を充実するには」ということで既に打ち出している。このチラシもお手元にあるかと思う。研修の中で、サブタ

イトルをつけたらどうかという話があった。我々が気付かなかったことだと思っている。各班においては、サブタイトルを2つから3つ、是非作っていただき、新たに各公民館における井戸端会のチラシを新たに作り、地域の人に配布したいと思っている。研修会で説明があったと思うが、行ってみたいと思われるような井戸端会にするためには、インパクトのあるようなサブタイトルを作っていただきたい。サブタイトルは各班で班長さんを中心に班の皆で作っていただきたい。今のタイトルはあまりに大きすぎる部分があるかと思うので、細かくした部分を作っていただきたい。

5月の報告会に参加された人数を参考に、1テーブルで5、6名が基準になるが。金城は今福公民館、旭は旭センターになるが、特に参加住民が多かった旭、金城地区は、テーブルは同じ5個でも10名ぐらいの人数になるのではなかろうかと思う。先般の研修で行ったように、模造紙と大きな付箋で今回は実施したいと思う。この研修は議員全員が受けておられるので、内容については充分把握されていると思う。

会の進め方は、先ほど言ったようにグループトークとする。グループは5、6人が適当な人数だが、参加人数によって変わってくるので、5名から10名、あるいは10名を越えるような所も出てくるのではないかと思っている。そうした中で大まかな流れとして、これはイメージだが、冒頭に司会者、班長さんになろうかと思うが挨拶していただき、いずれの会場も議長もしくは副議長に参加していただくので、どちらかの挨拶をいただく。そして開催趣旨の説明、テーマについての現状説明。会の進め方は1つのルールを作らないといけないと思っている。先般の研修資料を熟読していただいて、取り組んでいただきたい。ワールドカフェ方式で実践したいと思っている。そして班における発表、終わりの挨拶、これは班長になろうかと思うが、終わりに班長の挨拶をいただき、後日に班の纏めた報告書を提出していただく。

このような形で、10月13日からの井戸端会は取り組んでいきたいと思っている。井戸端会の説明は大体以上だが、何かあれば。

岡本委員

サブタイトルのお話があった。ではサブタイトルをいつ作るのかということだが、今日は時間もあるようなので、もし良ければ班で纏まっていたいただき、サブタイトルを早く出すことが。実は先ほど委員長が言われたように、各地区にサブを含めた検討内容をお配りすることも考えておられるようなので、是非この昼までの時間で進めさせていただけたらと思う。

田畑委員長

各公民館における大きなタイトルは既に決定している。サブタイトルの話をしたが、今日出来れば班ごとに集まっていたいただき、それぞれの公民館におけるサブタイトルを2点から3点ほど出していただき、出していたいただいたサブタイトルは広報広聴委員会の正副委員長に出していただきたい。例えば10月13日今福公民館において、地域農業と観光を充実するにはという、大きなタイトルはこれでいくが下のタイトルについては、美又開発についてとか、何々についてとか、色んな意見があるかと思うがそれを集約していただき、今日1時ごろまでに次の会議が始まるまでには出していただきたいと思う。

8月31日は出していただき、公民館ごとのチラシを作っていただきたい

と思う。

澁谷委員

これ、今回10月13日から初めての井戸端会なので、充分各班で、原案が出ている、タイムスケジュールが出ているが、役割分担ときちんとしたマネジメントをして、打合せをきちんとしていただきたい。何度も何度も打合せをしていただかないと、折角やったことが機能しないことにもなりかねないので、充分準備していただきたい。結果的にアクシデントが起こって色んなことがあったなら構わないが、準備不足で浜田市議会の名誉を損なうことがないように、充分各班長さんのリーダーシップでお願いしたい。期間はそうないのでよろしく願います。

笹田副委員長

概ね説明があったとおりで、各班に広報広聴委員がおられるので、不明な点はその委員にお尋ねいただければと思う。また先日の研修で先生が言われたように、大きいタイトルの現状というのも各班で考えていただいて、来られた方に説明することになっているので、それも班で考えて伝えるようにして欲しい。

田畑委員長

先ほど副議長からお話があったように、議員の皆さんのお手元に資料が配布してあると思う。進行表もある。この表も先般の研修に沿って作ったもの。議員の皆さん全員研修を受けているので、理解されていると思っている。

佐々木議員

小テーマの設定についてこれから各班で話をということだったが、タイトルによってはその必要がないタイトルもあるのかもしれないが、例えば我々は弥栄の地域農業ということで行くが、現状をしっかりと把握した上での小テーマの設定でないと、現状を知らずに小テーマだけ設定しても、住民の方の思いとは違う方向に行ってもいけない。これは執行部の担当の方で結構だと思うが、行く班とその地域の執行部に、現状をしっかりとつかんだ上でのテーマ性が必要ではないかと思うが。委員会ではそういう話は無かったか。

田畑委員長

委員会では別に、そういう話はなかった。例えば今言われた佐々木議員と同じ班なので弥栄の公民館に行くわけだが、地域農業とまちづくりを充実するにはという大きなタイトルでやる。そしてサブタイトルについては、弥栄自治区が求めている農業と福祉の問題だとか、体験村の問題だとかというようなことも、総合振興計画に記載してあるのでそういったことも踏まえた上で我々は会場に臨まなければいけないのではないかと、という気持ちを私は持っている。佐々木議員が言われるように、地域農業とまちづくりの現状となると、あまりにも話が大きすぎて何の話をしただけか分からなくなる可能性がある。講師の先生が仰ったように、書いてあることはものすごく良いが大きすぎて話すポイントが無くなってくるんじゃないかということがあるので、サブタイトルで多少……あまりに飛びすぎたら具合が悪いかもしれないが、それに似たようなタイトルをつけないといけないのではないかと考えている。

牛尾昭委員

佐々木さんと僕同じ班だが、今言ったのは、弥栄の問題、地元にも色々な要望や問題があると思うから、それを掴むのに少し時間をいただかないと今日の1時では難しいと思う。他のテーマではすんなりいくものもあるのだろうが、少し時間をいただいて、本当にそこへ出掛けていくならその切迫した要望を聞きあげてサブタイトルを付けないと。「こんなタイトルなら行っても仕方ない」と言われる危険性があるので、少し時

- 間をいただけるようお願いする。
- 田畑委員長 牛尾昭委員が言われたが、時間があまりにも無さ過ぎるので、慌ててはいけないと思うが。8月31日から9月定例会が始まる。その中で予算決算委員会をやっていくと本当に時間が、あまりにも無さ過ぎて地域住民の皆さんに周知する時間が足りないのではないかと思い、私は出来るだけ急いだ方が良くないか。今のニーズ、地域住民の問題を聞き取りするとなると、1週間や10日はかかると思うが。広報広聴委員の皆さんいかがするか。
- ( 「班の判断で」という声あり )
- 田畑委員長 では、副委員長から話があったが……各班班長にお願いということで、締切は9月4日と書いてあった。私の間違い。では9月4日までにサブタイトルを作ってください、各班で責任を持って報告していただくということでよろしいか。
- ( 「はい」という声あり )
- 森谷議員 はいその他。森谷議員。  
地域に依じてこのような考えられているのは知っているが、私のイメージでは、例えば石見公民館の皆が住みやすいまち。ああそうかということ。三隅や弥栄から「これ興味あるから」と聞きに来て良いと認識している。間違いないか。
- 田畑委員長 間違いない。
- 森谷議員 だから、地域性も大切だが100パーセント地域性だとそういう人たちに虚しい思いで帰ってもらうことになるので、そこも若干考えながら小タイトル及び内容を考えるべきだと思った。
- 田畑委員長 各公民館に行かれる班全体で考えていただくということにして、9月4日までに提出していただくということでお願いします。
- 平石議員 チラシは誰が作るのか。
- 田畑委員長 出していただければ。例えば平石議員は今福公民館専用のこれを作る。例えば今福公民館や旭センター専用のチラシを再度作るのも、そのようにご理解いただきたい。
- 澁谷副議長 議員の皆さんに最後お願いしておく。明日から13日で、当然盆と言うか、各地域で盆踊りや飲酒の機会等もあるかと思う。くれぐれも行動については品位を保っていただくようよろしくお願い申し上げます。
- 三浦局長 この後1時から意見交換会、その後自治区等の特別委員会も開催される日程なので、よろしくをお願いします。

[ 11 時 44分 閉議 ]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 原 田 義 則